



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「ワンチーム」

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」 キム サンチェ (韓国)
 アジア太平洋地域会長主題 「100年を超えて変革しよう」 大野 勉 (神戸ポート)
 西日本区理事主題 「未来への挑戦」 新山 兼司 (京都トップス)
 中部部長主題 「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」 渡辺 真悟 (名古屋)

名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

— 今月の聖句 —

それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。「皆、わたしの言うことを聞いて悟りなさい。外から人の体に入るもので人を汚すことができるものは何もなく、人の中から出て来るものが、人を汚すのである。」 (マルコによる福音書7章14節～15節)

強調月間 Community Service・Menettes

3月例会等ご案内

◎3月第1例会

日程：2022年3月10日(木) 18:45～

会場：名古屋YMCA

担当：長谷川和宏君

開会宣言・点鐘：山田英次会長

ワイズソング 省略

5つの信条：柴田洋治郎君

プログラム：

『メンバーによる3分間スピーチ』

諸連絡

閉会宣言・点鐘：山田英次会長

◎3月第2例会

日程：2022年3月17日(木) 19:00～

会場：名古屋YMCA

3月第一例会は新型オミクロン株「まん延防止等重点防止措置」が解除されることを前提に計画しています。「まん延防止等重点防止措置」が解除されなかったり、YMCAの状況により例会を中止する場合があります。会長からの連絡にご注意下さい。

◎デイキャンプ交流会

(ワイズEMC・YYYフォーラム)

日程：2022年4月23日(土)

10:00～15:00頃

会場：戸田川緑地公園こどもキャンプ場

参加費：1,000円

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 2月末一在籍者19名

(内広義会員2名)

出席者 9名 (Make up 9名) **第1例会中止**

出席率 52.9%

【特別ファンド】

2月ファンド 0円

現在保有額 1,662,900円

ワイズとYMCA

橋爪 良和

今年、設立 120 周年を迎えた名古屋 YMCA が記念誌を発行することになり、その編纂のお手伝いをさせていただいたことを機会に、これまで私が経験したワイズと YMCA のことを綴りたいと思います。

私と YMCA との関係は、まさに東海クラブの入会から始まっており、ワイズとの関係がなければ YMCA との関わりもありませんでした。その私が現在、YMCAのお役をさせて頂いていることを思うと、人生の不思議な出会いを感じます。

職場の先輩から誘われ、何も分からない 20 代にワイズに入会、40 年以上の年月がたっています。私はワイズの活動とともに名古屋 Y との関係を深めてきましたが、私にとって 2 つの組織に何の違和感もなく、常に両立してきました。ワイズメンとなって最も感謝すべきことは、クラブの良き先輩や各地の仲間と交流し、本当にたくさんの人の交わりを持てたことです。少し大げさに言えば、それは私の学生時代の狭小な世界から、新しく大きく眼を開かせてくれることにもなりました。仕事とは全く違った分野でフィリピン、韓国などにも訪問することがあり、併走する YMCA との関係と連動し、私の人生に大きな影響を与えています。

120 周年記念誌編纂で改めて長い名古屋 Y の歴史を振り返ると、それはまさに多くの先達の希望と夢と挫折の連続であったことを思います。青少年の育成という希望に満ちた誕生から、大きな社会変化の中で戦争や財政的な挫折などを何度も経験しています。最近の例では上前津からの撤退が忘れられない出来事でした。しかし、何度も大きな挫折がありながら、それでも続いてきたのは何故でしょうか。

20 年ほど前、東京の日本 YMCA 同盟常議員会に出席した時、会の冒頭で読み上げる「日本 YMCA 同盟基本原則」を初めて熟読しました。その文面は、「私たちは」という言葉で始まる、4 つの約束が並んでいます。第 1 は前文です。そして

第 2 に、私たちは「すべての人々が生涯を通して全人的に成長することを願い、すべての命をかけたがえのないものとして守り育てます」。第 3 に、私たちは「一人一人の人権を守り、正義と公正を求め、喜びを共にし、痛みを分かちあう社会をめざします」と続きます。(後は長くなるので割愛します)。これを読んで私は YMCA という組織が、延々と続く理由を、少し理解したような気がしました。

基本原則は、「私」でも、「あなた」でもなく、「私たち」が主語です。自分の命だけでなくすべての人の命を大切にすること。そして痛みを分かち合う心を大切にしようと、「私たち」が決意するのは。多くの YMCA に連なる人々が、そう考えた時、どんなことがあっても、この思いとそれに裏打ちされた組織を、次の社会と時代につなげようとするのは当然なことだと思いました。

ワイズはこの YMCA のサポート団体として生まれました。「なぜ YMCA だけを支援するのか」という疑問もよく聞きます。一方で「ワイズは YMCA の支援団体だから」と YMCA の人材や施設利用を当然視する傾向もあります。二つの組織はその誕生やその後の経緯から別の組織であることは言うまでもありませんが、お互いを大切にする価値観をもった人間が集まる、立場の違う「私たち」であり、その意味で「車の両輪」だと私は思います。2 つの組織が、共にリーダーシップを持ち、生涯を通して成長しあうことが大切です。

2 月第 2 例会報告

1. 3 月例会について

第 1 例会は食事なしでメンバーの 3 分間スピーチとする。第 2 例会は予定通り開催の予定。

2. 刈谷 YMCA 保育園の献堂式には浅野猛雄君が代表として参加する。

3. 元金沢クラブ澁谷洋太郎君がなくなられたとの報告があった。

【出席者】浅野、太田、木村、柴田、長谷川、松本、山田、山村、鷺尾、

【付録】

日本 YMCA 基本原則

私たち日本のYMCAは、
イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、
世界のYMCAとのつながりのなかで、次の使命を担います。

私たちは、
すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、
すべてのいのちをかけがえのないものとして守り育てます。

私たちは、
一人ひとりの人権を守り、正義と公正を求め、喜びを共にし、痛み
を分かちあう社会をめざします。

私たちは、
アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の
人びとと共に平和の実現に努めます。

1976年5月に制定された旧日本YMCA基本原則を1995年6月に改定